

大
藏
省

通常銀行成規

大
正
十
一
年
四
月
贈



114
A1138
3

通常銀行成規

通常銀行創立ノ事

凡ソ此銀行條例ノ規則ニ從テ銀行ヲ創立セシト欲ス
ル者ハ須ラク左ノ條々ヲ心得テ創立ノ手續ヲナシ
其業ヲ営マンコトヲ謀ルヘシ

通常銀行ヲ結ハシト欲スル者ハ先ツ五人以上ニテ申
合セ連名ノ願書ヲ認メ五人以上ノ連印ニテモ亦總
代ノ一印ニテモ差支ナシ通常銀行ヲ創立致シ度趣
ヲ東京大藏省ノ紙幣頭ニ差出スヘシ

但東京ヨリ遠隔ノ地方ハ此願書ヲ郵便ニ托シテ
差出スモ可シカラス

紙幣頭ヨリ願ノ通一州一郡一他ニ於テ元金一萬圓ノ
通常銀行ヲ創立スルコトヲ許スニ付テハ銀行定款并

大藏省

ニ創立証各ヲ差出スヘシト、指回アルヘシ此指回
ヲ得テ願人等既ニ招募セシニ非レハ直ニニ株金ノ
募方ニ取掛ルヘシ
株金ヲ募ルノ法ハ新聞紙或ハ張紙ノ類ヲ以テ便宜
ニ任セテ世上ニ公布シ州郡ノ地ニ於テ何々ノ
方法ヲ以テ通常銀行ヲ創立スルニ付其組合ニ加入
セント欲スル人々ハ一月一日ニ街ノ屋ニ来ルヘ
シ發起人何ノ誰々等ト記載シテ世人ニ通知セシム
ヘシ
一日ニ至テ市ノ街ノ屋ニ於テ發起人等帳面ヲ開キ
此銀行ノ組合ニ加入セント申込タル人々ノ姓名并
ニ入金スヘキ金高ヲ此帳面ニ各込ミ一月一日迄ニ
入金スヘシト取定ムヘシ

一 銀行ニ加入スル入金ノ高ハ百圓或ハ五十圓ヲ以一
株ト唱ヘ(條例第二條ニ節ヲ参考セヨ)何ノ誰ハ幾株
ト唱フヘシ尤株數ノ多少ハ入金人ノ望ニ任スヘシ
一 入金ノ当日ニ至テ入金人ヨリ各各込ミタル金高ヲ
發起人方ニ持參スヘシ(金高ヲ入金スルニ或ハ半高
ヲ入金スルニ先前ヨリノ約束ニ從フヘシ)而シテ各
起人ハ此入金人ニ金子引替ニテ銀行ノ株手形ヲ渡
スヘシ(一株ニ付一枚ト定ム)於是此入金人ヨリ銀行
ノ株主ト唱フヘシ
但此各込ニテ集金ノ高發起人等ノ見込高ヨリ多
キ片ハ割引ヲ以テ入金人申出ノ高ヲ減少スルニ
亦或ハ銀行ノ元金高ヲ最初ノ見込ヨリ増加スル
ニ發起人ノ存意ニ隨フヘシ

大 裁 省

此株金募方ノ手續ハ其大要ヲ示スノニ社ヲ結
人々ノ便且ニ任スヘシ故ニ紙幣頭ヨリ別ニ其規
則ヲ設ケス

銀行株金ヲ招募セシ後條例第一條中ノ趣旨ニ從ヒ銀
行定款及ヒ創立証各各三通ヲ認メ之ヲ紙幣頭ニ差出スヘシ
銀行定款ノ文例左ノ如シ

銀行定款

明治ノ年ノ月ノ日大日本政府ニ於テ制定シタル通
常銀行條例ノ趣旨ニ基キ新ニ通常銀行ヲ創立スル
為メニ銀行ノ株主等協議ノ上決定スル条々如左

第一條

此銀行ノ名号ハハハハ銀行(又ハハハハ社或ハハハハ組)ト
稱スヘシ

第二條

此銀行ニテ諸為換貸付金預リ金等一切銀行ニ關係
ノ事務取扱所ハハハ州ノ郡ハハハ街ニ取建ツヘシ

第三條

此銀行ノ元金ハハハ万圓ト取定メハハハ圓(百圓カ)宛ヲ以
テ一株トスヘシ

但銀行條例第二條中ノ趣旨ニ從ヒ此元金ヲ増減
スルヲ得ヘシ尤モ元金増減ノ節ハ株主等ハ銘々
ノ株數ニ從ヒ其割合ニ準シテ増減スヘシ

第四條

此銀行ノ取締役ハ拾株以上ヲ所持スル株主ノ内ヨ
リ五人以上ヲ撰舉スヘシ其撰舉ノ初集議ハハハ月ハ
日ハハハ街ハハハニ於テスヘシ事宜ニヨリテハ此各面

ニ連名ノ株主等ノ衆議ニ從ヒ追テ其月日ヲ取定ム
ハシ

第五條

株主毎半季定式集會ハ一月一日及一月一日ト定ム
ハシ

但当日故障アリテ集會セサルキハ便且他日ヲ約
スヘシ

第六條

取締役ハ各歳第一定式集會ニ於テ其總員大凡三分
一宛退職スヘシ尤退職ニ當レル取締役重年再勤ス
ルヲアルヘシ

開業後二年間ハ取締役等自己ノ申合ヲ以テ退職ス
ルニ非レハ投票ヲ以テ其退職人員ヲ定メ第三年ヨ

リ長詰ノ者大凡三分一宛退職スヘシ

定式集會ノ節右方法ニ由テ取締役退職スルキハ其
會ニ於テ株主等同數ノ人員ヲ撰ヒテ之ヲ補フヘシ

取締役ノ内不時欠員アルキハ取締役申合反ニ他人
ヲ撰任シテ次ノ定式集會マテ奉職セシムヘシ

取締役ノ衆議ニテ其中ヨリ一人ヲ撰ヒテ頭取トナ
シ一ケ年間奉職セシムヘシ

但頭取タル者其任ニ堪サルカ或ハ取締役等ノ三
分ニ以上ノ存意ニヨリテ退社セシムルヲ得ヘ
シ

取締役等ハ又銀行ノ事務ヲ取扱フヘキ支配人以下
ノ諸役員ヲ撰任シ又右ノ諸役人等ノ給料ヲ取定メ
衆議ノ上銀行ノ得失ヲ考ヘ或ハ此役人等ニ重年ヲ

命シ或ハ之ヲ放免スルノ権アルヘシ又取締役ハ銀行ノ各記及ヒ役人等ノ職掌ヲ分課シ其身元ノ引受人ヲ約シ罰金ヲ豫定スルノ権アルヘシ

取締役等ハ都テ銀行條例ニ從テ適任ノ職務ヲ取行フノ権アルヘシ尤此條例ノ要旨ヲ遵奉シテ厚ク其銀行ノ便益ヲ謀リ條例中ニ揭示セル諸禁令ノ條款等ハ各相擔任シテ格護セシムルニ注意スベシ

但取締役ノ失任ハ銀行條例中ノ罰令ニ從ニ其責ニ任スベシ

取締役等ハ又銀行ノ處務ニ緊要ナル申合規則ヲ議定スルノ権アルベシ

此銀行ノ株主等ハ其所有ノ株高ハ全ク所持ノ資本ニシテ決シテ他人ヨリ借財シテ出金セシニ非ル旨

又何等ノ事故アルトモ取締役ノ義認ヲ得スシテ其株ヲ賣渡ス可カラサル趣ヲ申合規則ニ記載スルハ取締役等ノ権内ニアルヘシ

第七條

此銀行ハ創立証各ヲ調印シタル日ヨリ之ヲ永續スルヘシ但銀行條例ニ從ヒ總株三分二以上ノ株主等ノ存意次第ニ此銀行ヲ鎖スルヲ得ヘシ七モ株主等ハ一同ノ利益ヲ謀テ銀行ヲ鎖店スルノ理アリト雖モ其手續ハ都テ銀行條例ニ從テ之ヲ行フヘシ若シ銀行ノ利益甚ク薄ク今後ノ見据相立ナル節ハ株主三分二以上ノ決議ニ由リテ鎖店スルヲ得ヘシ

第八條

何人ニテモ自ラ株帳ニ各込ニテ株數ノ引受ヲ表スルニ非レハ銀行ノ株數ヲ引請クルモトナス可カラズ

株主ハ各其所持スル株數一個ニ付銀行ノ社印ヲ捺シ其番号并ニ入金セル金額ヲ記載シタル株數券狀一通宛ヲ受取ルヘシ

此券狀糜爛敗裂スルカ又ハ紛失スルヲアレハ衆議ニヨリテ取極メタル相当ノ手数料ニテ其昏改ヲ得ヘシ

頭取々締役ノ承認ヲ得テ株數賣買ノ証各ハ衆議ニテ取極メタル文例ヲ以テ賣主買主ノ兩名記名調印スヘシ尤買主ノ姓名ヲ未タ株帳ニ各込マサル中ハ賣主ハ其株數ノ持主タル責ヲ免カレサルヘシ

頭取々締役ハ本社ニ負債アル株主其株數ノ賣渡ヲナス片ハ之ヲ拒メノ權アルヘシ

株數賣買ハ每半季定式集會前十四日間ハ之ヲ禁止スヘシ

第九條

株主タルモノ入金期日ニ於テ其入金ヲ怠ル片ハ頭取々締役ハ右期日後ハ何時ニテモ其入金スヘキ高ハ勿論利息并ニ未納ニ付テノ入費納方ヲ催促スルノ權アルヘシ

右催促ノ昏面ニハ入金高并ニ利足ノ高及ヒ相納ムヘキ期日ヲ掲載シテ右期日迄ニ入金セサル片ハ右株數ヲ没入スヘキ旨ヲ記載スヘシ
其株數ヲ没入スル旨ヲ布告スヘシ

大 義 省

斯ノ没入シタル株數ハ頭取々締役ノ相當ト思考スル方法ヲ以テ之ヲ公賣シ又ハ私賣スルヲ得ハシ

第十條

此銀行定款ハ株主等ノ衆議ヲ以テ何時ニテモ改正スルヲ得ヘシ尤條例ニ齟齬スヘカラス(但改正セシ次第ヲ紙幣頭ニ届出ヘシ)
此改正ハ取締役或ハ株主等三人以上ニテ立議シ株主一同ノ集會ヲ乞フテ決議スヘシ
右ノ條々ヲ取極メタル証拠トシテ姓名ヲ記シ調印イタシ候也

明治 年 月 日

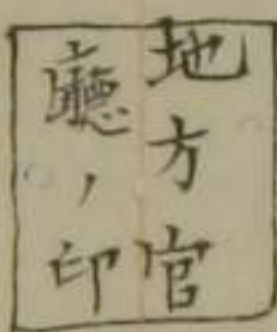
株主等連名印

右ノ銀行定款ハ本日株主共一同余カ眼前ニ來リ各面ノ通りニ認メタル趣ヲ正實ニ保証シ其証拠ト

シテ余カ姓名ヲ記シ當局ノ官印ヲ鈐シ候也

明治 年 月 日

地方官姓名印



但追テ頭取々締役支配人等定リシ上ニテ左ノ與存ヲ以テ紙幣券へ差出スヘキトス

其與存文例

右ノ銀行定款ハ之ヲ三通ニ認メ本紙一通写一通ヲ上呈シ他ノ一通ハ同文言ニテ體カニ之ヲ銀行ニ藏メ置候仍テ其保証ノ為メ私共自ラ記名調印イタシ候也

明治 年 月 日

支取人姓名印

紙幣御寮

頭取姓名印

銀行ニ藏メ置クハキ加馬ノ真唇

右ハ一社銀行定款ノ本紙ノ正馬ニシテ其本紙ハ規
則ノ通り之ヲ紙幣寮ニ差出候仍テ其保証ノタメ和
共自ラ記名調印致シ候也

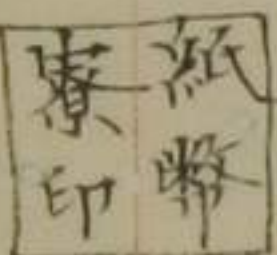
明治 年 月 日

支配人 姓名印
頭取 姓名印

右ハ一社銀行定款ノ正馬ニシテ其本紙ハ正ニ之ヲ
本寮ニ受取候ニ付明治一年一月一日余ハ大藏卿ノ
命ヲ奉シ爰ニ紙幣寮ノ官印ヲ鈐シ其事ヲ保証シ之
ヲ交附致シ置候也

明治 年 月 日

紙幣頭姓名印



創立証唇ノ文例左ノ如シ

銀行創立証唇

明治一年一月一日大日本政府ニテ制定シタル通常
銀行條例ノ趣意ニ基キ通常銀行ヲ創立シ其商業ヲ
經營セント謀リ此証唇第四條ニ連名シタル者概力
シテ此社ヲ結ヒ左ノ創立証唇ヲ取極メ候也

第一條

此銀行ノ名号ハ一社銀行社ト稱スヘシ

第二條

大藏省

貸附金預り金其他ノ業ヲ經營スヘキ此銀行本店ハ
 一州一郡一街ニ取立ツヘシ
 但出店ヲ置クトキハ其場所ヲモ掲クヘシ

第三條

此銀行ノ元金一萬圓ニテ一圓（五百圓カ）ヲ以テ一株ト
 定メ一株ニ分割スヘシ

第四條

此銀行ノ株主等ノ姓名宿所等ニ所持ノ株數ハ左ノ
 表ノ如シ

株主姓名	宿所	元金株數
何某	一州一郡一町	金一圓一株
何某	一州一郡一町	金一圓一株
總計何人		金一圓一株

第五條

各株主ハ所持ノ株數ニ應シ社中タル間ハ勿論退社
 ノ後一年間ニ此銀行鎖店スル一ツレハ其退社前ニ
 屬スル銀行ノ負債及ビ鎖店ノ入費ヲ兼テ其入金
 未済高ト其所持スル株數ノ價トニ剩過セサルハ如
 何程ノ高ニテモ出金スヘシ

第六條

此証各ハ銀行條例ニ基キ私共一同ノ利益ヲ謀ルタ
 メニ取極メタリ右ノ証拠トシテ私共一同姓名ヲ自
 記シ調印致シ候也

明治 年 月 日 株主等連名印
 右ノ銀行 通常銀行創立証各ハ本日株主共一同余
 カ眼前ニ來リ各面ノ通りニ認メタル趣ヲ正實ニ保

証シ其証據トシテ余カ姓名ヲ記シ当局ノ官印ヲ鈴
シ候也

明治 年 月 日

地方長官姓名印

地方官
廳印

右ノ銀行通常銀行創立証各ノ正寫ニシテ其本紙
ハ正ニ之ヲ本寮ニ受取リ候ニ付明治 年 月 日
余ハ大藏卿ノ命ヲ奉シ爰ニ紙幣寮ノ官印ヲ鈴シ其
事ヲ保証シ之ヲ銀行ニ交附致シ置候也

明治 年 月 日

紙幣頭姓名印

紙幣
寮印

此創立証各ハ通常銀行ヲ結フニ付政府ト其銀行トノ

約定各ニ均シキ唇面ナリ又定款ハ全ク銀行組合ノ
取極ニシテ政府ニ關係アルニ非ス株主等ヨク此別
ヲ心得ヘシ

附請合状ノ事

通常銀行ヲ創立セント欲スル者前文ノ手續ニナス
ヘキハ相當ノナレ其身分問合等ニ時日ヲ費
スノ患アリ仍テ願人等ノ身元ヲ請合タル請合状ヲ
紙幣頭ニ差出スヘシ此請合状ハ其地方ノ高官ニテ
モ又ハ有名ナル庶人ニテモ差支ナシ
願人等ハ右請合状ヲ創立ノ願各ト共ニ一時ニ紙幣
頭ニ差出スヘシ然ル片ハ手数ヲ省キ開業ノ期モ自
テ速カナルヘシ

但右ハ銀行ヲ結フヘキ輩ノ便宜ニ任スナレハ

大
省

可成丈々本式ノ手續ヲナサハ猶適正ナルヘシ
請合状ノ文例左ノ如シ

請合状

一州一郡一地ニ於テ銀行創立ノ儀ヲ一州一地何ノ
誰一州一地何ノ誰願出ニ付右ノ者共身元富實ニシ
テ營業正シク右銀行創立ヲ登起スルニ相当ナル儀
ハ私從來詳知罷在候間御差許有之候トモ決テ御差
支ノ儀無御坐候依之請合状差上候也

明治 年 月 日

何ノ誰印

紙幣御寮

更締役ノ事

銀行ノ株主等ハ一同ノ集議ニヨリテ更締役ヲ撰挙ス
ヘシ撰挙ノ月日場所ハ銀行定款ノ條中ニ記載シタ

リ

右ノ撰挙ニ應シタル更締役ハ直ニ誓詞ヲ認メ遲滞
ナク之ヲ紙幣頭ニ差出スヘシ其寫ハ銀行ニ藏メ置
クヘシ其文例左ノ如シ

頭取々更締役誓詞

一州一郡一街一銀行ノ更締役街一誰謹テ左ノ
條々ヲ誓フ

私儀ハ一州ノ民籍ニテ一州一郡一街ニ居住致スニ
相違無之事

当銀行ノ事務ヲ処スルニ付私共關係ノ職掌ハ謹
直ニ取扱フヘキ事

当銀行創立ニ付銀行條例ノ趣意ハ一個條タリ氏決
テ犯ス間敷又他人ヲシテ犯サセ間敷事

大 歳 省

條例ノ趣意ニ從ヒ私儀当銀行ノ株高帳ニ各込タル
通元金中ノ十株ハ自カヲ以テ持スルニ相違ナキ事
右ノ株ヲ質入イタシ或ハ借財ノ抵当ニ向ケ置テハ
決シテ不致候也

一州一府縣一銀行取締役何ノ誰印

明治一一年一月一日各面ノ者余カ眼前ニ於テ調印シ
誓ヲ致シ候也

地方長官姓名印

地方官
廳ノ印

但此誓詞ハ取締役等各通タルヘシ

右ノ取締役ニ撰挙セラルヘキ人ハ必ス十株ヲ自カニ
テ所持スヘキ規定ナレハ若シ株主等ノ内ニ適當ノ

人才アリテ一同ノ衆議此人ヲ撰フト虽モ右十株ニ
不足ナル故ヲ以テ取締役ニ挙カタキキハ其人ヲシ
テ十株丈ニ増株ヲナサシメ而シテ後改テ取締役ト
ナスヘシ

此撰挙ニ應シタル取締役ハ其内ヨリ一人ヲ撰テ頭取
トナスヘシ又支配人ヲ撰シテ之ヲ兼シ各記其外
ノ役人ヲモ命スヘシ支配人ハ銀行ノ業ヲ處分スル
重任ナレハ須ラケ熟練ノ人ヲ撰フヘシ他人ヲ雇入
ル、此差支ナシ必ス株主ノ内ヨリト限ルニ非ス

銀行元金入金証各ノ事

銀行ノ株主等銀行條例ノ割合ニ從ヒ追々元金ヲ入金
スル片ハ頭取ヲ締役支配人連印、証各ヲ紙幣頭ニ
差出スヘシ其又例左ノ如シ

入金証啓

明治十一年一月一日大日本政府ニ於テ制定シタル通
常銀行條例ノ趣意ニ基キ当銀行ノ元金トシテ一萬
圓ノ高ハ既ニ株主等ヨリ之ヲ当銀行ニ入金致シ候
也

明治 年 月 日

支配人何ノ 誰印

取締役何ノ 誰印

頭 取何ノ 誰印

紙幣御寮

役人上任規則

各通常銀行ト紙幣寮トノ往復其外ニ謬誤ヲ生セザラ
シメシメ為メ各銀行ノ役人等轉任ノ度毎ニ又テ紙幣
寮ニ報告スルヲ緊要ナリトス若シ新任ノ役人等ノ

調印ニテ唇面ヲ差出スル紙幣寮ニ於テ其役人ノ姓
名印鑑等ニ其上任ノトヲ知ラサレハ大ニ不都合ヲ
生ス可シ於是左ノ規則ヲ履行セシム
一 各通常銀行ヨリ紙幣寮ニ差出スル唇面ニ調印ス
ルキ銀行役人ノ姓名印鑑ヲ前以テ紙幣寮ニ報告ス
ルキハ一切其役人ノ調印シタル唇面ヲ取用并サレ
ハシ
一 紙幣寮ヨリ各銀行ニ送スル唇面ハ上任ノ報告ヲ
以テ兼知シタル役人ニ向テテ送スヘシ
一 上任ノ報告ハ他ノ報告唇面ニ異ニシ銀行ノ印
ヲ加ヘ可成ハ前任新任ノ両印ヲ備フヘシ
一 上任ノ報告ハ左ノ唇面ニ從ヒ一様ナルヲ良トス
ハシ

一州一郡一銀行

明治一一年一月一日

當月一日何、誰儀ハ、銀行、頭取ニ撰ハレ
何ノ誰儀ハ支配人ヲ命セラレ其印鑑ハ別紙、通
候也

銀行
印

紙幣御察

元支配人何、誰印
元頭取何、誰印
新支配人何、誰印
新頭取何、誰印

用紙養農堅七寸幅寸

銀行
印

明治一一年月日何、誰代リ
何役撰辛
印

頭取或ハ支配人
何、誰
印
宿所

開業免状ノ事

銀行創立証各定款等諸手續相済シ後紙幣頭ヨリ開業
免状ヲ附與スヘシ此免状ハ少クモ三十日間世上ニ
公布スヘシ

大藏省 紙幣寮 第一一審

明治一一年月日

開業免状

一州一郡一地方一銀行ヨリ指出シタル証各ニ拠
リ此銀行ハ明治一一年一月一日大日本政府ニテ制定
シタル通常銀行條例ノ趣意ニ從テ創立シ其開業前
ノ手續ハ都テ條例ノ規則ヲ履行シタルト今明ナル
ニ付今此開業免状ヲ交附シ自今此條例ニ從テ銀行

大藏省

ノ業ヲ當ルコトヲ許可スルモノ也
 右ノ証據トシテ明治十一年一月一日余ハ大藏卿
 余ヲ奉シ爰ニ姓名ヲ自記シ官印ヲ鈐スル也

明治 年 月 日

紙幣頭 姓名印

紙幣
察印

元金増減ノ事

銀行ノ元金ハ株主一統ノ協議ヲ以テ増加スルコトヲ得
 ハシト虽氏紙幣頭ノ承認ヲ得サレハ其手續ニ取掛
 ルヘカラス紙幣頭ノ許可ヲ得テ元金増集ノ手續ニ
 取掛リ其增高ノ幾分カ入金済ノ上銀行ヨリ紙幣頭
 へ元金増集証各ヲ指出スヘシ其文例左ノ如シ
 元金増集証各
 一州一銀行

一州一郡一地	元金何口	合何口
何、誰	増金何口	此株何程
一州一郡一地	元金何口	合何口
何、誰	増金何口	此株何程
	合元金何口	總合何口
	増元金何口	此株何程

右ハ株主三分二以上ノ存意ヲ以テ元金ヲ増加シ
 現額各面ノ通相違無之候也

明治 年 月 日

支配人

何、誰印

頭取

何、誰印

銀行
印

紙幣御察

右ノ通相違無之候也

地方官
廳ノ印

地方長官姓名印

右ハ一ノ銀行元金増集証各ヲ差出スニ付明治一
年一月一日余ハ大藏卿ノ命ヲ奉シ割印ヲ加ヘ之
ヲ保証スル也

明治 年 月 日 紙幣頭 姓名印

証印

元金減少ノ審ハ條例ノ規則ヲ履行シ紙幣頭ノ許可ヲ
得テ後始テ其手續ニ取掛ルヘシ而シテ右減少者ノ
上元金減少証各ヲ紙幣頭ニ差出スヘシ其文例左ノ
如シ

紙幣
印

元金減少証各

一州一ノ銀行

一州一郡一地	元金何口	残現金何口
何ノ誰	減金何口	此株何程
一州一郡一地	元金何口	残現金何口
何ノ誰	減金何口	此株何程

合元金何口 合残現金何口
減金何口 株數何程

右ハ株主三ノ二以上ノ存意ヲ以テ元金ヲ減少シ其
高さニ殘現額共各面ノ通相違無之候也

明治 年 月 日

支配人

何ノ誰印

頭取

何ノ誰印

銀行
印

大藏省

右ノ通相違無之候也

地方官
廳印

地方長官姓名印

右ハ一一銀行元金減少証各差出スニ付明治一
年一月一日余ハ大藏卿ノ命ヲ奉シ割印ヲ加ヘ之ヲ
保証スル也

明治 年 月 日 紙幣頭姓名印

証印

銀行報告ノ事

紙幣頭ニ指出スヘキ報告ハ下ニ掲載スル如クニシテ
其各式ハ紙幣頭ノ指圖ニ從フヘシ
第一 銀行毎月實際報告

第二 銀行半季實際報告

第三 銀行利益金割合報告

第四 株主姓名表

第五 銀行役人上任報告

第六 預リ金並ニ貸付金平均高報告

銀行諸簿冊ノ事

銀行ノ諸冊ハ紙幣案ニテ定メタル各式ニ從ヒ正確ニ
記入スヘシ

申合セ規則ノ事

銀行創立ノ上條例ノ趣意ニ違背セサル最其社中申合
セ規則ヲ適宜ニ取定メ紙幣案ニ届出ツヘシ

明治 年 月 日

大藏省



寫
記
錄
校
正

一
六
癸
巳